

取付説明書

ZETA アーマーハンドガード Uクランプ

この度は ZETAアーマーハンドガードをお買い上げいただき、ありがとうございます。

組み付けされる前に、下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1.注意事項

製品に対し、加工、改造を行わないで下さい。

本製品は28,6mm径ハンドルバーの使用を前提に設計しています。それ以外の径の異なるハンドルバーには使用できません。

既に車輛に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉して使用できない場合があります。

取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となる場合があります。

2.取り付け方法

1) グリップゴム、スロットルチューブを加工します。

-左右のグリップのエンド部をハンドルバーが貫通する様にカットします。(又はオープンエンドタイプのグリップに交換します。)

-スロットルチューブのエンド部をカットします。

(又はオープンエンドタイプのスロットルチューブに交換します。)

グリップエンドとガード本体が干渉しない様にスロットルハウジングの位置を調節しながら取り付けます。

※(ハンドルバーが3mm位はみだす程度が適切です。)

2) Uクランプをハンドルバーの適当な位置に仮固定します。

-R(右)側用とL(左)側用があります。刻印のある面が車体中心側を向いている状態で取り付けます。

3) パーエンドアダプターをガード本体に取り付けます。

-図2を参照し、ハンドルバーの内径にあわせて2種類の金具(図2 AorB)から適当な形状のものを選択し、組み合わせます。(Aは主にスチール製ハンドルバー用。Bは主にアルミ製ハンドルバー用。)

※アクセル側にはプラスチックプレートを入れ、ガードがスロットルの動きを妨げないようにします。

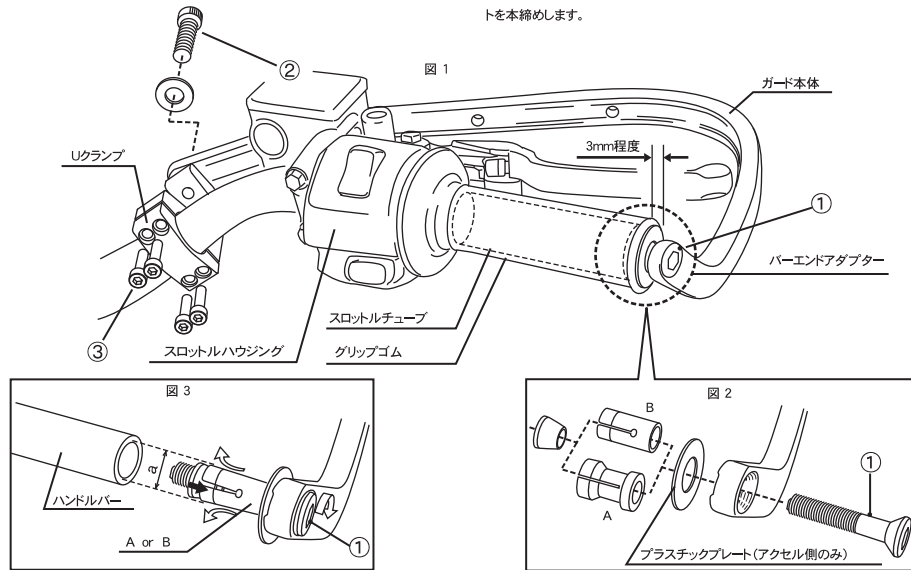
-図3を参照し、テーバーボルト①を締め込み、パーエンドアダプターがハンドルバーの内径aと同じ大きさになるように調整しておきます。

4) ガード本体をハンドルバーに取り付けます。

-図1を参照し、パーエンドアダプター側よりハンドルバーに差込み、UクランプにM8キャップボルト②で仮固定します。

-Uクランプがハンドルのテーバー部にしっかりと固定される位置に調節します。

-各部がケーブル等に干渉がないことを確認し、位置が決定したら①～③のボルトを本締めします。



・本製品は汎用品であるため、ハンドルの形状によっては取り付け時に工夫が必要になる場合があります。

・必要に応じてレバー位置の調整、ショートレバーへの交換を行ってください。

取付説明書

ZETA アーマーハンドガード Uクランプ

この度は ZETAアーマーハンドガードをお買い上げいただき、ありがとうございます。

組み付けされる前に、下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1.注意事項

製品に対し、加工、改造を行わないで下さい。

本製品は28,6mm径ハンドルバーの使用を前提に設計しています。それ以外の径の異なるハンドルバーには使用できません。

既に車輛に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉して使用できない場合があります。

取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となる場合があります。

2.取り付け方法

1) グリップゴム、スロットルチューブを加工します。

-左右のグリップのエンド部をハンドルバーが貫通する様にカットします。(又はオープンエンドタイプのグリップに交換します。)

-スロットルチューブのエンド部をカットします。

(又はオープンエンドタイプのスロットルチューブに交換します。)

グリップエンドとガード本体が干渉しない様にスロットルハウジングの位置を調節しながら取り付けます。

※(ハンドルバーが3mm位はみだす程度が適切です。)

2) Uクランプをハンドルバーの適当な位置に仮固定します。

-R(右)側用とL(左)側用があります。刻印のある面が車体中心側を向いている状態で取り付けます。

3) パーエンドアダプターをガード本体に取り付けます。

-図2を参照し、ハンドルバーの内径にあわせて2種類の金具(図2 AorB)から適当な形状のものを選択し、組み合わせます。(Aは主にスチール製ハンドルバー用。Bは主にアルミ製ハンドルバー用。)

※アクセル側にはプラスチックプレートを入れ、ガードがスロットルの動きを妨げないようにします。

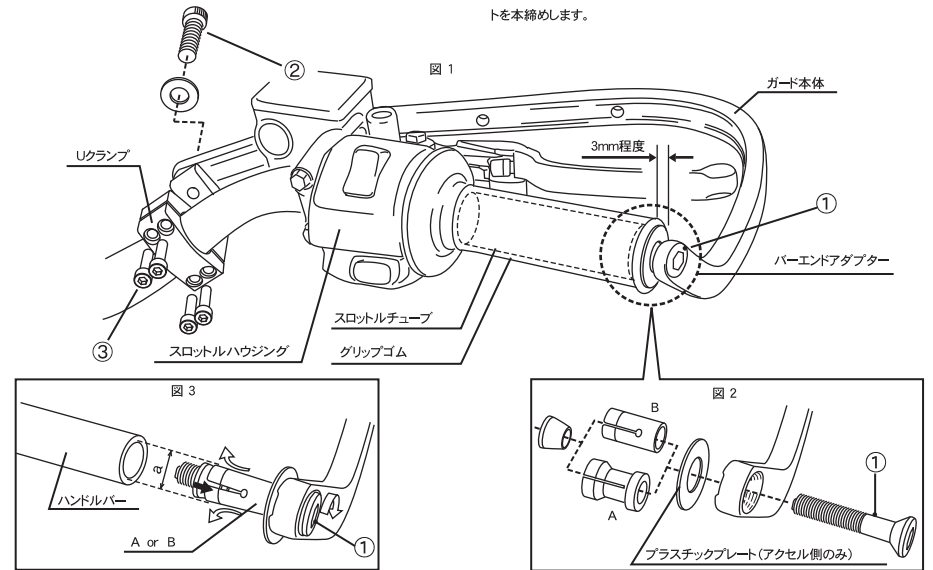
-図3を参照し、テーバーボルト①を締め込み、パーエンドアダプターがハンドルバーの内径aと同じ大きさになるように調整しておきます。

4) ガード本体をハンドルバーに取り付けます。

-図1を参照し、パーエンドアダプター側よりハンドルバーに差込み、UクランプにM8キャップボルト②で仮固定します。

-Uクランプがハンドルのテーバー部にしっかりと固定される位置に調節します。

-各部がケーブル等に干渉がないことを確認し、位置が決定したら①～③のボルトを本締めします。



・本製品は汎用品であるため、ハンドルの形状によっては取り付け時に工夫が必要になる場合があります。

・必要に応じてレバー位置の調整、ショートレバーへの交換を行ってください。